登別中だより

３年生が中庭でバチリ。小さくて誰が誰だか…。

【教育目標】すすんで学び 正しく判断する(知)　思いやりを持ち きびしさに耐える(徳)　命を大切にし 心身を鍛える(体)　　令和３年８月２３日発行　No.5

「努力は人を裏切らない！～池江選手の言葉から～」

校長　寺　岡　　弘

２６日間の夏休みが終了しました。生徒たちも１７日の始業式にいつも通りの元気な姿を見せてくれました。うれしい限りです。長期休業中はオリンピック期間ということもあり、始業式に当たり、生徒たちにはオリンピックで感じたことを話しました。

様々な競技で日本人の活躍を見ることができました。今大会は過去最高のメダル獲得となり、どの競技でも感動を与えてくれました。特に、水泳の池江選手は、白血病という大きな病気を克服してのオリンピックということもあり、メダルには届かなかったものの、その健闘が光りました。退院した時のやせ細った姿から考えると、オリンピックに出られただけでも奇跡です。どれだけの努力をしたのか想像もつきません。しかも、試合が終わった後に、すぐに 2024 年パリ五輪でのメダル獲得に向け「自信があるわけじゃないが、決勝を見て、自分はこの舞台で活躍できるんだ、という自信が湧き上がってきた」とポジティブに先を見据えて話したそうです。また、オリンピック出場を決めたとき、池江選手は「努力は人を裏切らない」とも話したそうです。安易に池江選手の努力について語ることはできないと思いますが、逆境に負けず頑張る姿勢は見習わなくてはいけないと思いました。さらに、オリンピックの開会式に出ていました、世界のホームラン王として有名な王 貞治さんはこう言っています。「努力は必ず報われる。もし報われない努力があるのならばそれは、まだ努力とは呼べない。」なかなか厳しい言葉で、これは超一流の王さんだからこその言葉かもしれません。何にしましても、「努力は人を裏切らない」は、スポーツに限らず、すべてのことに通じていることだと思います。皆さんも「努力は人を裏切らない」ということを実現できるように、自分の目標に向かって地道に努力を続けてほしいと願っています。

生徒たちには、いろいろな場面で努力する大切さを伝えていきたいと思います。また、同時に生徒たちの頑張っている姿を認め、励ましていこうと思います。

家庭と学校をつなぐアンケート　～ご協力ありがとうございました！～

毎年行っている学校評価「家庭と学校をつなぐアンケート」ですが、今回はネット上で、グーグルフォームを活用して行いました。回答率は全体の８３％でした。保護者の中には、送信してからすぐに回答があったり、紙よりもスムーズに実施できる感触がありました。（ネット上でできない家庭につきましては、紙でデータを渡し、学校で回収しています。）今後も今回と同様に実施していきたいと考えています。まずは、アンケートにつきまして、ご協力ありがとうございました。今後の学校経営に生かしていきます。

つながらない等のトラブルがありましたら、紙ベースでアンケートをお渡ししますので、お気軽に声をかけていただければと思います。

９月

１日（水）	学校祭特別日課Ⅰ期開始（５時間授業後準備）
３日（金）	避難訓練（津波）
８日（水）	１年生見学学習（洞爺湖方面） あいさつ一声運動
９日（木）	学校祭特別日課Ⅱ期開始（午前授業後準備）
１１日（土）	土曜授業日（JICA 講演）
１５日（水）	３年学力テスト（総合Ａ）
１７日（金）	中間テスト範囲提示
１８日（土）	学校祭
２０日（月）	敬老の日
２１日（火）	中間テスト
２２日（水）	校内研修③
２３日（木）	秋分の日
２４日（金）	学校祭の代休
２８日（火）	市教研部会（給食なし　午前授業）
２９日（水）	３年生修学旅行（～１０月１日）

生徒会企画「いじめ撲滅集会」　～いじめを生まないために～

７月２０日（火）に「いじめ撲滅集会」が行われました。目的は「いじめを生まないために必要なことは何か」「一人一人がするべきことは何か」を考えることです。全校生徒を９つのグループに分け、各グループでミニ討論会を行いました。集会の最初に生徒会長の坂井君から「絶対にいじめを起こさないようにしましょう。」と力強い言葉がありました。討論中も真剣に討議し、最後に各グループごとに内容のまとめをし、いじめ撲滅宣言としました。毎年、生徒会が中心となり実施しており、生徒も自分事としてしっかり考えてくれています。いくつかの質問に対する生徒の意見を抜粋しますと…

「いじめはどんなことから生まれる？」
・ちょっとした些細なトラブルから　・価値観のすれ違いから　・友達同士のミスから　・ねたみやしっと
「いじめを生まないためにはどんなことが必要？」
・人の気持ちを考える　・差別しない　・一人一人の意見を尊重する　・自分の意見を伝える
「あなたの宣言」
・いじめだと思ったらはっきり言う　・いじめられている場面を見たら誰かにすぐに言う
・いじめられている子を助ける　・見て見ぬふりをしない　・相手のことを常に考える

いじめを生まないために一人一人がどうしたらよいかを考える素晴らしい機会になりました。

いじめに関連して、「いじめの科学」という本を読みましたので紹介いたします。その本には、介入が必要となるケースの見極めとして、いじめを深刻化する２つの条件が書かれていました。

一つは、「シンキングエラー」。もう一つは「アンバランスパワー」。「シンキングエラー」は、いじめの加害者が加害行為をしていても、「いじめ」に気づけないこと。例えば、被害者を痛めつける行為をしていても、「あれは遊びだった。」とか、被害者の気持ちに全く共感することなくいじめを正当化してしまうこと。「アンバランスパワー」は力の不均衡。例えば、加害者が肉体的に力が強く、被害者が弱い。そればかりではなく、仲間がいるものと孤立しているもの、さらにはスポーツができるものとできないもの、など…。
いじめ関係に陥ると、「アンバランスパワー」があるため、被害者が異議申し立てをすることは難しい。なにしろ、相手の力が強くて怖いのである。やり返すこともできなければ、嫌だと言うこともできない。もしもそれが可能ならば、そこに「アンバランスパワー」は存在せず、「通常の子ども同士の争い」になる。被害者に対して、「やり返せ」とか「強くなれ」と言うのは、無意味である。加害者がいじめ関係をやめればいいのだが、残念ながら「シンキングエラー」があり、気づけない。当事者には解決が難しいわけだから第三者の介入が必要になるのである。

いじめが起こるときは「シンキングエラー」があり、理不尽にいじめが始まる。さらに、「アンバランスパワー」があり、自分では解決できない。やめさせるためには第三者の介入しかない。生徒の声の中にも、いじめを見たら先生に伝える、見て見ぬふりをしない…とありました。大切なことだと思います。いじめ撲滅を誓った子どもたちとともに、学校でもいじめの根絶に向け、教育相談、いじめアンケート、やりとり帳など、アンテナを高く、子どもを守っていきます。ご家庭でも、「いじりといじめはどう違うのか」など、いじめに関わることを話題にして話し合っていただけると幸いです。

日胆地区吹奏楽コンクール　～金賞受賞おめでとう！！～

８月２日（月）に日胆地区吹奏楽コンクールが開催されました。Ｃ編制（２５名以内）で出場しました。コロナ禍で練習もままならず、曲を仕上げるのが大変だったと思います。当日は「フィールズ・オーバーチュア」という曲を全力で演奏し、見事金賞に輝きました。本当におめでとうございます。今度は１０月３１日（日）の定期演奏会での素晴らしい演奏を期待しています。（コロナの影響がなく実施できることを祈っています…）

演奏が終わり、ほっとした表情…